

平塚工科高等学校で自衛隊をアピール

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、5月26日（木）「自衛隊の任務と活動」と題し、神奈川県立平塚工科高等学校の3年生10名を含む、生徒15名に対し、自衛隊の概要説明と質疑応答を行った。今回の説明は、「自衛隊を正しく知ってもらいたい」という事務所の意志と、同校の3年生の中から、「興味のある自衛隊の仕事の内容をもっと知りたい」という要望から実現した。

説明では、任務編成はもとより、警察、消防、海保など、同じ公安系職業との差違及び、大災害時の自衛隊の活動状況や自衛隊に入隊してからの生活状況など写真を多く使ったパワーポイントにより、生徒に理解容易な内容に着意して説明を行った。質疑応答では、具体的な日々の訓練内容や、生活状況の質問を多く受けた。説明後の感想を聞かれた生徒は「多種多様な任務と職種があり、自分の適性にあった職種が多くあり、国際貢献も行っている自衛隊に興味があった」と話した。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊を正しく理解して興味をもってもらえるよう、自衛隊の活動等を多く紹介できる場を設けたい」としている。



説明風景

地域ロータリークラブの富士学校見学支援を実施

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、5月27日（金）、平塚地域事務所が担当する地域の「平塚南ロータリークラブ」会員26名に対して「陸上自衛隊富士学校見学」を支援した。

同クラブは日頃から自衛隊に対し理解があり、自衛隊説明会の開催、広報活動の紹介など積極的に協力受けている。今回「富士学校での自衛官の活動を理解し、更なる協力につなげていきたい」と強い要望で実現した。当初、ブリーフィング受けと資料館の見学を行った後、学校内施設の案内を受け「自衛官として必要な特技の基礎を学ぶ学生の姿を見て、平和を守る隊員の頼もしさを感じた」との声も聞かれ、同行した広報官も更なる防衛基盤の強化に手ごたえを感じていた。

平塚地域事務所は、「今後も、多くの方に自衛隊の任務と活動等を知ってもらい、理解と協力を得られるよう防衛基盤の拡充に努める」としている。



富士学校見学風景

